



本庄市長 吉田 信解氏

市長のメッセージ

本庄市は、古くは中山道や鎌倉街道、利根川の^{かし}河岸など交通の要衝として栄え、今日も上越新幹線や在来線、関越自動車道や主要幹線道路が縦横に行き交い、首都圏や上信越、北陸地方の結節点として、人やモノが集まる交流拠点の役割を果たしています。

また、蔵や路地の残る趣ある街並み、里山のある豊かな自然、商業施設などが充実した新たなエリアなど、自然環境と都市環境がバランスよく調和したまちです。歴史に培われてきた多彩なポテンシャルを活かしながら、人が集まり、人がつながり、人を活かし、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

はじめに

本庄市は、埼玉県の北西部、都心から80km圏に位置し、東は深谷市、南は美里町・長瀨町・皆野町、西は上里町・神川町、北は利根川をはさんで群馬県伊勢崎市に接する面積約90km²、人口約8万人の市である。自然が残る地域も多く、観光スポットも多い。川沿いに5kmにわたって連なる「こだま千本桜」は特に有名な観光スポットで、春には多くの人が訪れる。

本庄市の歴史は古く、大規模な原始・古代遺跡が発見されているほか、まちの中心部は江戸時代には中山道最大規模の宿場町として栄えた。また、渋沢栄一、荻野吟子と並び、埼玉三偉人に数えられる盲目^{はなわは きいち}の国学者、塙保己一の生誕地としても知られる。

市は、市内への転入者の増加を目指し、市の魅力である「速さ」・「広さ」・「ゆとり」をアピールしている。

「速さ」は、新幹線で東京駅から50分程度で本庄早稲田駅に着くことができるほか、関越自動車道の本庄児玉ICも市の中心部に近接しているため、交通の利便性に優れている点である。

「広さ」は、関東平野の北西部に位置しており、東京圏では珍しく地平線が見える雄大な景色と高い空のもと、都心より低価格で庭付きの広い家の取得が可能な点である。

そして、「速さ」と「広さ」があることで、「ゆとり」のある生活を送ることができる。

全国的に人口減少が進むなか、本庄市の人口も減少しているが、「速さ」・「広さ」・「ゆとり」を求めて

市外からの転入者が増加しており、2016年以降は転入者が転出者を上回る「社会増」の状態が続いている。

※^{かん な がわ}国道17号本庄道路神流川橋の開通

昨年12月3日、国道17号本庄道路神流川橋が開通した。

国道17号本庄道路は深谷市岡から高崎市新町までの全長13.1kmのバイパス道路で、全区間の西側半分7.0kmについて先行整備中であつたが、先行整備区間のうち、優先的に整備が進められていた神流川橋架替区間の工事が完成し、暫定2車線で開通する運びとなったものである。東側半分についても、昨年事業化され、今後事業が進むことで、さらなる交通利便性の向上が見込まれる。交通の結節点である市の利便性を最大限活かし、「ヒト」「モノ」「産業」の交流拠点として、また、本庄ブランド発信



国道17号本庄道路神流川橋の開通セレモニー

